境木保育園　　２９年度　　１月指導計画（　４歳児）　　りんご組　　園長印　　担任印

子どもの様子	ねらい	行事	自己評価
・微熱や鼻水、咳など出ている子がいるが大きく体調崩すことなく過ごしている。 ・友だちと一緒に鬼ごっこなど簡単なルールのある遊びを楽しんでいる。 ・モノブロックを使ってイメージしたものを作って友だちと見せ合って遊んでいる。	・園生活のリズムを取り戻し、生活に必要な生活習慣を自分から行おうとする。 ・自分の思いや考えを出しながらみんなで活動する楽しさを味わう。 ・冬の自然現象に気づき、見たり触れたりして遊ぶ。 ・正月の伝承遊びに興味をもち遊ぶ。	１（月）～３（水）冬休み １５（月）英語　１９（金）避難訓練 ２２（月）誕生会　２４（水）体験スイミング　郵便屋さんごっこ月間 お正月遊び月間 ２９（月）～２月３日　個人面談	・体調不良の子がいたり、大雪が降ったりして登園する子が少ない日があったが、落ちついてすごすことができていた。自由遊びをしながら製作を取り入れたい気持ちのある子が充分に楽しめたことはよかったと思う。凧あげを充分たのしめなかったことは残念だった。

		内容	環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り
養護・教育	生命・情緒　健康・人間関係・環境・言語・表現	・ゆったりとした雰囲気の中で自分の思いや気持ちを受け止めてもらい安心して過ごせるようにする。 ・手洗いうがいをていねいに行い、健康に過ごせるようにする。 ・自分の思いや考えを伝えながら、安心して生活し自分なりの力が発揮できるようにする。 ・寒さに負けず友だちと一緒に体を動かして遊ぶ。 ・正月の伝承遊びに興味を持ち、友だちや保育士と一緒に楽しむ。 ・他児との関わりの中で自分の気持ちを表し、意欲的に遊ぶ。 ・鬼ごっこなどルールのある遊びを楽しむ。 ・冬の自然現象の不思議さや変化に気づき、見たり触ったりして遊ぶ。 ・休みの間に経験したことを保育士や友だちに言葉で伝える。 ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする。 ・正月休みの出来事や経験したことを絵に書いて表現してみる ・季節の紙芝居や絵本を読んでもらい話の世界に親しむ。 ・凧に好きな絵を描きできあがったもので遊ぶ。 ・季節の歌を友だちと一緒に歌う。	・一人ひとりの健康状態を把握し、体調の変化に気をつける。 ・水まわりを清潔に保つ。 ・安心して自分の気持ちを表せるような雰囲気をつくる。 ・縄跳びや鬼ごっこなどの活動を取り入れる。 ・かるたや百人一首などの伝承遊びを用意する。 ・保育士も一緒に体を動かして楽しむ。 ・タライなどの用器に水を張り氷ができるように準備する。 ・冬の自然が見つけられる場所に行く機会を設ける。 ・自分の経験したことを話す機会を設ける。 ・季節にあった絵本を用意する。 ・凧上げは広い場所でおこなう。 ・油性ペンを用意しておく。	・休み中の様子や体調を家庭と連絡をとって把握する。 ・自分でできたことを認める。個々に合わせた援助を行う。 ・子どもの話したい気持ちを受けとめ安心して話せる雰囲気を作り、満足感が得られるようにする。 ・保育士も一緒に体を動かして遊び、動くと体が温かくなってくることを伝える。 ・伝承遊びの面白さやルールを分かりやすく伝える。 ・冬の自然に対する子どもの気づきに共感し受けとめる。 ・子どもが話そうとする姿を見守り子どもの話をゆったりと聞くようにする。 ・その子なりの表現を認め、褒めて自信に繋がるような声かけをする。 ・凧上げをする時は周囲の状況に十分配慮して安全に楽しめるようにする。	・感染症がはやりはじめ、体調不良を訴える子もいた。様子をよく見てこまめに検温するようにした。お正月休みにあったことや経験したことを話していたので、耳をかたむけるようにした。・散歩でお参りしたことも楽しかった。・たこあげでは天候がわるく、充分たのしめなかった。2月もひきつづきたのしめるようにしたいと思う。・雪が降って冬ならではの自然をたのしむことができた。・百人一首や、縄とび等などの遊びを楽しんだ。ルールの理解もわかりやすくなってきていると感じた。・季節や行事の紙芝居を借りてきて読みきかせるととても興味を持ってきいていたのが印象的だった。・久しぶりにやったリズム運動は新しい動きも取り入れたので、皆興味を示して集中して楽しんで取りくむことができていた。
食育		・食事のマナーを守りながら食べようとする。 ・食べこぼしに気をつけて食べる。 ・友だちと会話を楽しみながら食べる。 ・伝統的な料理（七草がゆ）について知る。	・落ち着いた雰囲気のなか食事ができるようにする。	・子どもが自分で気付けるように声掛けをする。守りながら食べている姿を認めていく。 ・たくさん取りすぎたりすることがないようにおかわりの様子を見守る。	・大きな声でおしゃべりすることが目立ってきていた。声をかけることが多くなった。麻がえをしたり、食材に興味を持てるような声かけをしてみた。・個別面で食の子も下膳が定着してきている

地域とのかかわり	家庭との連携
・散歩時に地域の方に挨拶をする。	・正月休みの様子を聞いて、子どもの健康状態を把握する。 ・手洗いうがいの励行をお願いする。 ・個人面談で保育園での様子など伝え子どもの成長を共に喜ぶ。

時間外保育
・安心して過ごせるように配慮する。 ・室内で楽しめる遊びを充実させる。 ・他の職員と連携をとって伝達漏れのないようにする。